

和文英訳で間違えやすいポイントを詳しく解説しました。

参考 be 動詞のかわりに live(住む), exist(存在する), remain(残っている), come(来る), happen(起こる)などの自動詞を用いることができる。
There **remains** a problem in that plan. (その計画には問題が残っている。)

+ <Here+be 動詞+主語> 「ここに～があります, これが～です」
Here is your change. (お釣ります[お釣りをどうぞ]。)

英作文のコツ 「～がある」の表し方

問題 その木は庭にあります。

解答 The tree is in the yard.

解説 「～がある」だからといって, × *There is the tree in the yard.* にはしてはいけない。There is ... は「初めて話題に出るもの」「相手が知らないもの」の存在を知らせる表現なので, the(その), this(この), that(あの), my(私の)など, 「相手を知っていることを示す語」は普通, 付かない。

入試に **Challenge** ()に入る適切なものを選びなさい。

When we arrived at the birthday party, () nothing left to eat or drink.

① they were ② it was ③ there was ④ we were (センター試験)

訳 私たちが誕生パーティーの会場に着いた時, 食べ物や飲み物は何も残っていなかった。

Point 意味から考えると nothing が主語になる。 **解答** ③

+ Plus α 動詞が決める語の配置

英語には語の配置パターンがあり, どのパターンになるかは動詞によって決まる。例えば, 「列車はバりに着いた。」は次の3つのような表現が可能。

- (1) The train **arrived in** Paris. × *The train arrived Paris.*
arrive(到着する)は自動詞なので, 「～に」を表す場合は前置詞の in が必要。
- (2) The train **reached** Paris. × *The train reached to Paris.*
reach(～に到着する)は他動詞なので, 直後に目的語(Paris)がくる。
- (3) The train **got to** Paris.
get to(～に着く)は他動詞として働く群動詞。群動詞の後に目的語がくる。

 すべてのことに時あり。ーウィリアム・シェークスピア